

ウェルおおさか

vol.128 2020.10 隔月発行(偶数月1日)

特集

コロナ禍でのつながりづくりを求めて ～オンラインという方法～

- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内



コロナ禍でのつながりづくりを求めて ～オンラインという方法～

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、家族や友人と会えない人も多いでしょう。長期休暇中の帰省も自粛。大なり小なり「もしも、感染したら」の恐怖に怯えています。しかし、恐怖や不安を感じる日常だからこそ、人とのつながりの重要性は、ますます高まっています。そこで、注目されているのが、オンラインでの交流です。今回は、コロナ禍で対面しての交流が難しい中でも、オンラインで日々の楽しみを見つけ、何とか人とつながろうとする人たちの活動を通して、つながりの大切さを改めて考えてみたいと思います。



顔をみるだけで安心できる

人は、人とのつながり無しに生きることとはできません。ウイルスが蔓延する状況下では、家族以外の人とは離れて暮らすしかなく、社会との分断や孤独を感じている人も少なくないでしょう。しかし、物理的に会うことができなくても、誰かとつながろうと、いつも以上に意識して行動すれば、人と人との交流は、失われたいのではないのでしょうか。オンラインの交流がさかんになってきたのも、「人とつながりたい」という気持ちが根底にあるからです。

つながりの必要な人が つながれないことも

オンラインお茶会、オンライン飲み会などは、感染を気にせず、マスクを外して気楽に参加できます。ふれあうことこそできないものの、顔は見えるし、声も聴ける、複数が同時に参加することができるので、家族や仲間との一体感も得られ、家にこもりがちでも、寂しさを感じないですみます。また、ふだん会えない遠方に住む人たちと移動をせずに交流できるのは、オンラインならではのメリットです。課題は、もっともつながりを必要とする高齢者がオンラインになじみが薄いことです。しかし実は、高齢者にとって、オンラインというツールは役立つことが多いものです。

災害のときも孤立せず リアルに情報共有

例えば、新型コロナウイルス感染症の状況の見通しがつかないだけでなく、今後大災害が起きてしまうかもしれません。そんなときにも、電源が確保され、オンライン環境さえ整っていれば、リアルタイムで双方向、お互いの姿を見ながらの情報共有ができ、助けになるはずで

す。さらに発展すれば、病気で入院中でもオンラインで習い事をしたり、足腰が不自由になっても、オンラインで見舞いや墓参りをしたりできるようになるかもしれません。社会が変化していく中でも、さまざまな人とつながり、関係を深めていくことは、変わらずに大切なことです。

次ページからは、マンションや福祉施設でのオンラインを活用したつながりを作る取り組みを紹介します。

「コロナの中でもつながる方法」(発行:大阪市社会福祉協議会)

さまざまな地域福祉活動、ボランティア・市民活動に取り組むみなさん、新型コロナウイルス感染症の影響下での活動の方向性や方法を考えるための参考資料としてぜひ活用してください!

資料PDFは、大阪市社会福祉協議会ホームページでご覧いただけます。

☞<https://www.osaka-sishakyo.jp/20200728/>



〈目次〉

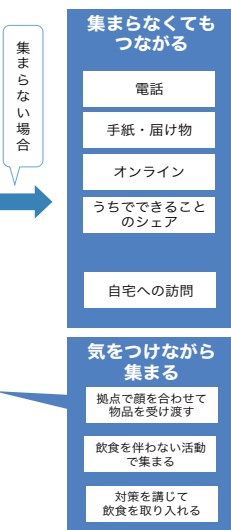
- ①つながりを絶やさないために
 - ②集まらなくてもつながる方法
 - ③気をつけながら集まる方法
 - ④ピンチをチャンスに
- ・資料集(全34ページ)

〈問合せ先〉

大阪市社会福祉協議会
地域福祉課
☎06-6765-5606

コロナの中でもつながり続けるために (手順と選択肢)

- 1 活動の目的と、この間の状況を見つめ直そう
- 2 関連するガイドラインや資料を確認しよう
- 3 夏場は熱中症にも気をつけよう
- 4 話し合っ、方向性を決めよう
- 5 具体的な準備・対策をして、再開(継続)へ
- 6 ふりかえって、次につなげよう



感染リスクへの低さ

つながりの強さ

※「コロナの中でもつながる方法」を参考に作成

活動の継続・再開や中止、代替策などを考える際の具体的な手順・視点について▲

幸せなマンション暮らしに、 つながりは不可欠だと実感しました

ゆうゆうクラブ在宅医療勉強会

災害のときも孤立せず リアルに情報共有

毛馬コーポの有志グループゆうゆうクラブでは「歳をとっても暮らせるマンションづくり」を目指して3年前から年に5回「在宅医療勉強会」を開いています。人口の約3割が高齢者になる2025年問題で高齢者の在宅生活が主流になることを背景に、みんなが知りたいことをテーマに設定して、医療福祉の専門職と住民が対等な立場で、知識や情報を共有したり、意見を出し合ったりしています。催しによっては、住民40人ほどの参加者が「理想の毛馬コーポ」をレゴブロックで表現し発表する企画など、住民が主体的に取り組める工夫があり、超高齢社会にも夢が広がります。

「映ってる!」と大騒ぎした 初めてのオンライン

有意義な内容で参加者も増えつつあった勉強会は、新型コロナウイルス感染症によって、完全にストップしてしまいました。日頃から活動的だった発起人の前田智希子(ちまこ)さんは「外出できない、おしゃべりできない。電話はするけど、顔がみられない。寂しかった」とふりかえります。

早速、勉強会のメンバーでもあり、オンライン会議経験のある前田さんのか

かりつけ医、忌部周さん(医療法人福愛会 いんべ診療所院長)と区社協の生活支援コーディネーターの佐々木さやかさんが、会議アプリでの勉強会を前田さんに提案。佐々木さんは、年配のメンバーがオンライン会議アプリをスムーズに使えるように、アプリの超簡単マニュアルを作成し、苦手な人には自宅に出向いて操作のフォローをしました。

オンライン勉強会の初のテーマは「コロナ質問会」。「話し合う以前に『映ってる!』と大騒ぎ。声が聞こえなかったり、顔が出なかったり。みんな同時にしゃべったり…でも、すごく楽しかった」と前田さん。同じ住民の青山ヒフミさん(甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授)は「画面に自分の姿が映るのを楽しむ姿が印象的。お化粧をしたり、ジャケットを着たり、よそ行きの感覚です。オンラインで気持ちもハリを取り戻したようです。背景に生活がちらっとみえるのもオンラインの魅力」と話してくれました。

誰も取りこぼさない ハイブリッド型に進化中

勉強会にオンラインで参加できるのは、まだ一部の人のみ。「オンラインしかダメというのではなく、選択肢を増やすことが大切」と佐々木さん。次回は、発信者からの動画を映した集会室のスクリーン視聴、会議アプリを使った在宅か

忌部 周さん 佐々木 さやかさん



青山 ヒフミさん 前田 智希子さん

らの参加など、より多くの人が集まれるようハイブリッド型勉強会を試してみるそうです。

このように新しい試みがトントン拍子に進むのは、住民の日頃からの関係と専門職の下支えがあります。毛馬コーポは、古くから住んでいる人が多く、お互いの生活が手にとるようにわかる「長屋型マンション」で、青山さんによれば「お茶漬けご飯足らへんから分けて」と甘えられるのだとか。忌部さんも「医療の勉強会といえば医師など専門職が中心になることが多いですが、このマンションは住民の方が積極的。私たちもみなさんに学びながら脇役を楽しんでいます」

オンラインに馴染んだ前田さんは今、オンラインの安否確認や見守りを計画しているそうです。

「コロナ禍を経験して、幸せなマンション暮らしにつながりは不可欠と痛感しました。老後の心配もありますが、身近に頼れるいい仲間がいるので、困ったときにその都度考えようと思っています。助け合って最後まで楽しくやれたらいいですね」と笑顔の前田さん。



DATA

ゆうゆうクラブ在宅医療勉強会
(毛馬コーポ)
大阪市都島区毛馬町2丁目11-1
1979年3月(築42年)地上11階
総戸数約200戸

リアルなふれあいにはかないませんが、 つながりをつくるツールが増えました

特別養護老人ホーム ラヴィータウーノ

副施設長 中川 春彦さん

初めてのオンライン面会 東京と大阪で孫の誕生日を祝う

ラヴィータウーノでは、4月7日の緊急事態宣言前から、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、面会をすべて中止しました。

「入居者さんによっては、毎日ご家族がお見えになっていたの、面会がなくなれば、入居者さんの気持ちが落ち着かなくなれると思い、早くからオンラインでの面会を検討していました」と副施設長の中川春彦さん。そんなとき、「入居者さんの東京に住む息子さんから『母の様子が心配。オンライン面会はできませんか』といったメールが届きました。息子さんの想いにおされて、タブレットを用意するなど、一気にオンライン面会の準備を進めることになりました」

初めてのオンライン面会は5月初旬、LINEのビデオ通話を使用しました。

「タブレットの画面には、息子さんと夫婦とお孫さん。こちらは入所者さんとスタッフたち。お孫さんのお一人が誕生日でしたので、オンラインを通して一緒にバースデイソングを歌ったりしながら盛り上がりましたね。遠方に住んでいる息子夫婦や孫の様子をみているうちに、表情の乏しかった入居者さんもクスッと笑われ、その様子にご家族も安心されたようです」



同施設では、このオンライン面会の直後に、全利用者の家族にオンライン面会の案内を送付しました。予約制で面会時間は約15分。「入居者さんに重度の認知症がある場合、コミュニケーションに若干の課題はありますが、ご家族さんには概ね喜んでいただいています」と中川さん。

西郷さんのまちへ オンラインの旅

読書会などで早くからオンラインを活用していた中川さんは、Facebook上で知り合った鹿児島のおでかけ同行サービス事業「介護旅行ナビ」を運営する堤玲子さんから「外出できないみなさんにオンライン旅行を楽しんでもらえたら」という提案を受け、「面白い!」と二つ返事でOKしたそうです。

オンライン旅行では、西郷隆盛銅像前からの生中継。「鹿児島の堤さんがこちらに向けて話をすると、入所者さんはテレビの出演者に話しかけられていると認識されたようです。双方向でのリアルタイムという初めてのやりとりにハイテンションでした」

観光パンフレットを眺めたり、鹿児島県民なら誰でも知っている歌を方言の翻訳をみながら歌ったりして楽しみました。あらかじめ施設へ送られてきた西郷せんべいを「(鹿児島から) 投げるから



受け取ってね」とあたかも画面を通して受け取ったかのように演出をしてみました。工夫を凝らした成果があつて「楽しかった。機会があつたらよんでや」と好評だったそうです。中川さんは、今後、環境が整えば、簡単な楽器を使って双方向で合奏するオンライン演奏会を構想中だそうです。

親密さを取り戻したい

面会を中止しても、ふだんとは別の形で人とのつながりを維持しているラヴィータウーノ。オンラインの活用について、中川さんのお気持ちを伺いました。

「長期間会えないと入居者さんも、家族さんも不安です。オンライン上であっても姿が見え、会話ができるだけで、非常に喜ばれ、試してみてよかったと思っています。とはいえ、オンラインはあくまでも方法のひとつ。補完的に使うのがいいと考えています。

コロナ禍で親密さが分断されました。本来、人とのコミュニケーションは、肩がふれあうくらいの距離が一番、親密で心が落ち着きます。リアルなふれあいにまさるものはありません。全部オンラインになるのは寂しいですね」と中川さん。

DATA

特別養護老人ホーム
ラヴィータウーノ
大阪市此花区伝法6丁目5番12号
TEL 06-6463-6546
FAX 06-6463-6536

厳しい環境だからこそ “つながる”を止めないで

大阪教育大学 教育学部特任教授 新崎 国広さん
(社会福祉士)



つながりが途絶える不安

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面での交流が不可能になることで、私たちが最も大切にしている「つながり」が途絶えることに危機感を抱きました。とくに高齢者や障がい者の在宅生活を支えていた福祉関係者、あるいは民生委員、地域福祉活動者、NPOなど対人支援が必要な現場で働く人たちは、思うように支援できない苛立ちやもどかしさを覚えた人が多いと思います。

それでも多くの福祉の現場は、医療と同様、利用者が安心できる生活を維持するために、感染のリスクを抱えて支援を続けざるを得ないのが現状です。このような第一線で関わり続けている人たちは、心からの感謝と敬意を表します。

プラスの側面をみつけて

大学では、コロナ禍によって、オンライン授業が始まり、いろいろな課題が出てきました。Wi-Fi環境やタブレット等の有無による教育面での格差をどう埋めるかに腐心しました。また、私自身「対面重視」の信念を盾にバーチャルと距離をおいていたため、授業のつくり方に戸惑い、学生たちの力を借りながら、試行錯誤の繰り返しでした。

一方で、メリットもありました。オンライン授業は、自宅にいながら、他の学生と同じクラスにいるように授業を受けることができます。このため、「勉強はしたいが、学校に行くのは苦手」であった学生が積極的に参加してくれました。また、レポートの提出率がほぼ100%になり、授業中も対面ならあまり発言するのが得意ではない人でも、自分の意見を述べるが増えました。

振り返り、問い直す機会に

以前、「当事者の話や、現場の話を聴くことにどんな意味があるんですか」とある学生は、授業の振り返りシートに書いてきました。面白いと思った私は、次の授業でそのことについてグループで討論することにしました。質問した学生はここに納得しない限り、新しい学びに進んでいけないと考えたからです。「高校では先生が答えを教えてくれたが、新崎の授業は答えがない」ことに疑問を抱いていたのです。「さまざまな人の話に耳を傾け、経験を通して、自分自身が学ぶ。答えは一つではないし、時代とともに変わるかもしれない。教えられたことを暗記するのではなく、きみたちが主役になって、社会の価値観や考え方を導き出してほしい」と伝えました。このことで、自分の教育についての考えがより明確になりました。

今まで経験したことのないコロナ禍のオンライン授業は、教師と学生が同じ目線で、立ち止まり、振り返り、学びの根源的な意味について考える機会を与えてくれたといえます。

教育も福祉も伴走型支援

教師と学生、ソーシャルワーカーと利用者、分野は違っても、関係性は同じだと考えます。教師が学生を主役にするように、ワーカーも当事者を主役に据え、伴走型支援をしていく。教師やワーカーがその人の人生を決定し、サービスを提供するという発想ではないのです。

伴走型支援をしていくには、「相手がなぜそんな行動をしているのか」「どんなことを思っているのかを受け止める」ことから始めなければなりません。もち

ろん、お互いに意見を言い合える信頼関係を築いていることが大前提です。自分の価値観は、揺るがないと思って、支援をしてしまうと方向を誤ります。これまでやってきたことを問い直すことは、試験の一面もありますが、家にこもりがちなコロナ禍は、思考を深めるチャンスです。

オンラインはあくまでも手段

新しい方法を試すときは、原点にもどって考察していくことが重要だと考えます。原点とは、すなわち「なぜ、それをするのか」という目的のこと。例えば、方法論だけで議論して「セキュリティの関係でWi-Fiは無理」というような考えに陥ってしまえば、前に進みません。「なんとかしたい」という想いがあり、「どうしていいか」と方法を探すというのが正しい順番です。

「つながり」を大切にしているのであれば、「なんのためにつながるのか」、原理や基本理念が明確なら、その方法がオンラインでも、手紙でも、対面でも、問題ではないのです。各区で、各施設で、各団体で、大切にされていることがきつとあると思います。そこから出発して、今はオンラインで実現するための工夫をしていけばいいのです。

キーワードは、温故知新。これまで大切にしてきたことを続ける努力をしながら、もう一方で、これまでのやりかたに固執せず、柔軟に新しい方法を試していきたいものです。「なんとかしたい」にどれだけ真剣に向き合えるかが、新しい発想につながってくると感じています。

大阪市のモデル事業●「介護の職場 担い手創出事業」

新たな人材「アシスタントワーカー」

アシスタントワーカーとは、部屋の清掃、食事の片づけ等の軽作業を担う“介護現場の新たな人材”です。

アシスタントワーカーの導入を目指すモデル事業は、住吉区で取り組み、「介護の雇用管理改善」の相談支援を行っている「公益財団法人 介護労働安定センター 大阪支部」がサポートし、アドバイザーとして雇用管理コンサルタントを派遣して実施しています。

各施設では、アドバイザーの助言のもと、業務の日課表に基づき、配膳下膳、シーツ交換等の業務を細分化し、写真の活用や表現方法などの工夫をしながら、それぞれの業務の手順書を作成しておられ、アシスタントワーカー採用後は、業務伝達に活用されます。

7月に開催された専門職養成校、専門職団体、社会事業施設等の有識者による検討会議では、取組内容の報告を行い、委員の方々からさまざまな意見をいただきました。

主な意見としては、「地域住民の導入は、通勤時間の短縮、地域に貢献しているといった魅力がある。」「介護の専門性を高め、人材のすそ野を広げることが大切。」「モデル

事業に留まらず、障がいや保育など他分野にも広がってほしい。」などがありました。今後も委員の皆様のご意見をもとに事業を進めていきたいと思えます。

アシスタントワーカー募集WEB就活イベント

◆WEB合同説明会◆ 要申込

日時／10月8日(木)

①13:30～14:00

②14:10～14:40

③14:50～15:20

内容／採用担当者による「施設説明」と「フリートーク(質疑応答)」

問合せ／☎06-4392-8201

🌐<https://www.wel-osaka.jp/AssistanttoWorker/>

興味、関心のある方は、当センターのホームページをご覧ください。

施設からの声

ふれ愛の館しおん

地域密着型特別養護老人ホーム

モデル事業に関わり、業務の見直しの良い機会になっています。業務仕分けにより作成しているツールは、今後の教育ツールとして、OJTにも活用していきます。事業を通して求人、採用、教育に携わることは、スタッフの良い経験となりやりがいを感じています。

特別養護老人ホーム

ウェルネスあびこ

業務の細分化の作業は大変でしたが、必ず将来的に役立つ、とやりがいを感じています。誰でもできる、誰もができる業務の切り出しに取り組み、誰が見てもわかりやすいシンプルなマニュアルを作成中です。

特別養護老人ホームなごみ

業務内容を文書化することには苦勞していますが、文書にすることで業務の見直し、振り返りになり、スタッフの学びになっています。マニュアルには、より業務が伝えやすくなるよう写真も取り入れています。継続して活用できるよう定期的に更新していきたいです。

アドバイザー紹介

「アシスタントワーカー」とは、食事介助や入浴介助などの専門的な業務は担当せず、ベッドメイキングや掃除などの周辺業務を担当し、介護職をアシスト(手助け)するスタッフのことをいいます。

専門知識や経験を必要とせず、短時間勤務も可能です。そのため、子育て中、仕事をリタイアした方、アルバイトなど、あるいは、介護の仕事は敷居が高いと感じている方にも、安心して働いて頂くことができます。

さらに、「アシスタントワーカー」導入により、施設では介護職の専門性がより発揮されることになり、より満足いただけるサービスを提供できるようになります。

このように「アシスタントワーカー」は、介護人材の確保とサービス向上に繋がる新しい職種として期待され、その普及のためのモデル作りに3施設が参画し、熱心に取り組んできました。準備が整い、いよいよ採用が始まります。



株式会社システムサポート研究所
代表取締役 谷口 公一

1988年企業経営コンサルティング、1999年から介護施設の経営コンサルティングを展開。中部学院大学講師(福祉経営論、現代福祉マネジメント)、日本福祉大学社会福祉研修センター講師、(公財)介護労働安定センター大阪支部委嘱コンサルタント

大阪市こころの健康センター開催の講座・教室のご案内

① 依存症に関する市民講座

対象 ▶ 大阪市民及び大阪市内在勤者

	日 時	内 容	
薬物依存症	10月5日(月) 14:00～16:00	・講演「薬物問題のある人を助けようとする時に知っておきたいいくつかのこと」 ・当事者の体験談	40名 (先着順)
アルコール依存症	10月16日(金) 14:00～16:00	・講演「アルコール依存症ってどんな病気?」 ・当事者の体験談	
アルコール依存症	11月12日(木) 14:00～16:00	・講演「アルコールに関する問題を抱える方への対応」	

② 依存症の家族教室

対象 ▶ 大阪市民で 家族のアルコール、薬物、ギャンブル等の問題でお悩みの方

	日 時	内 容	
ギャンブル等依存症	10月21日(水) 14:00～16:00	・講演「依存症からの回復」 ・参加者交流会	15名 (先着順)
ギャンブル等依存症	11月16日(月) 14:00～16:00	・講演「借金問題への対応」 ・参加者交流会	
薬物依存症	11月26日(木) 14:00～16:00	・講演「薬物依存症について」 ・参加者交流会	

※アルコール依存症の家族教室は12月から開催予定

③ 飲酒と健康を考える会

対象 ▶ 大阪市内在勤の支援者

日 時	内 容	
10月23日(金) 19:00～21:00	・講演「女性のアルコール依存症」 ・事例検討、意見交換会	40名 (先着順)
11月12日(木) 19:00～21:00	・講演「アルコール依存症からの回復について～本人、支援者それぞれの立場から～」、意見交換会	

④ こころの健康講座

対象 ▶ 大阪市民及び大阪市内在勤者

日 時	内 容	
10月22日(木) 14:00～16:00	・講演「身近なうつを知ろう～周囲の接し方と支え方」	40名 (先着順)
11月19日(木) 14:00～16:00	・講演「もっと知りたい、睡眠のこと～ぐっすり眠って心も体も健康に」	

※会場はすべて大阪市こころの健康センター です

※新型コロナウイルス感染症の拡大等により中止になる場合があります

②のみ各区保健福祉センターでも申込みを受け付けます 問合せ(電話) 各区番号4ケタ〇〇〇〇 9968

北 区	6313	都 島 区	6882	福 島 区	6464	此 花 区	6466	中 央 区	6267	西 区	6532
港 区	6576	大 正 区	4394	天王寺区	6774	浪 速 区	6647	西淀川区	6478	淀 川 区	6308
東淀川区	4809	東 成 区	6977	生 野 区	6715	旭 区	6957	城 東 区	6930	鶴 見 区	6915
阿倍野区	6622	住之江区	6682	住 吉 区	6694	東住吉区	4399	平 野 区	4302	西 成 区	6659

〈問合せ・申込み〉大阪市こころの健康センター 大阪市都島区中野町5-15-21 都島センタービル3階 ☎06-6922-8520

生活支援員 登録養成講習会 受講生募集について

あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

大阪市社会福祉協議会では、認知症・知的障がい・精神障がいのある方々などが、安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理サービスなどを行う『あんしんさぽーと事業』を実施しています。

この事業の日常的な金銭管理サービスの担い手である生活支援員の登録養成講習会の受講者を募集します。

すべての講習を受講された方は、面接選考のうえ生活支援員としてご登録いただき、今後、各区社会福祉協議会の生活支援員の補充が必要な際に採用いたします。

※講習修了や登録が活動を保証するものではありません。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を講じた上で開催します、ご協力をお願いいたします。

日時／令和2年11月6日(金) 10:30～15:30

内容／午前:あんしんさぽーと事業の概要
午後:利用者の理解(認知症等)

会場／大阪市立社会福祉センター3F 第3・4会議室
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10
最寄駅:近鉄大阪上本町近鉄11番出口を東
大阪メトロ谷町線 谷町9丁目駅

応募条件／①ボランティア活動や地域福祉に関心のある方
②本講習会をすべて受講できる方
③週3～4日、1日4時間程度活動できる方
④自転車に乗れる方
⑤70歳以下の方(生活支援員経験者は除く)

☆登録後、生活支援員として採用された場合、時給、交通費(就業規則の定めるとおり)を支給します。

募集人数／20人(先着順)

締切／令和2年10月12日(月)

申込み・問合せ／大阪市社会福祉協議会 地域福祉課
あんしんさぽーと事業担当
〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20
大阪市社会福祉研修・情報センター3F
☎06-4392-8236 ☎06-4392-8900

【申込み方法】

大阪市社会福祉協議会ホームページに掲載の受講申込書、またはA4用紙に必要事項(氏名(ふりがな)・年齢・性別・〒番号・住所・TEL・FAX)を記入のうえ、郵便(締切日当日の消印有効)・FAX・持参にて、期日までに大阪市社会福祉協議会あんしんさぽーと事業担当までお申し込みください。

講座案内

当センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため次のとおりの措置を講じうで研修を実施いたします。ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。ただし、今後の臨時休館の取扱状況によっては、中止又は延期する場合があります。(令和2年9月11日現在)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置

- 研修中は常に換気を行うこと
- 参加者間の距離を2メートル以上確保し、お互いの接触は避けること
- マスク着用の徹底及び消毒液を常備し、手に触れる箇所の消毒に努めること
- 研修備品等の共有をしないこと(マイクを使用し発表を行う場合は、その都度消毒します)
- 受講者全員に「大阪コロナ追跡システム」への登録要請を徹底すること

● 市民向け講座

市内在住、在勤、在学の方

講座名		日 時	受講決定	講 師	内 容	その他
【介護実習講座】	ステップアップ(応用) テーマ別コース(座学)	①10月 5 日(月) ②10月 7 日(水) ③10月12日(月) ④10月14日(水) ⑤11月 4 日(水) ⑥11月 5 日(木) いずれも 10:00～12:00	開講日の約1週間前に受講証をお送りします。	専門学校講師、介護福祉士など	入門コースを修了された方がテーマごとに介護の知識・技術を深めるためのコースです。受講するテーマは複数選択できます。 ①移動(1) ②移動(2) ③排泄・着脱介助 ④食事介助 ⑤応急手当 ⑥口腔ケア	定員:各テーマ6人 (先着順) 希望される方は、お問合せください 受講:100円(資料代) 受講当日に現金で申し受けます
	高齢者にやさしい食事 ～調理方法と実演紹介～	10月21日(水) 10:30～正午		大地の会(大阪市在住地域活動栄養士の会)管理栄養士	高齢者の食事に関する特徴や形態、栄養について理解するとともに、身体状況に応じたメニューや栄養配分、介護者が手軽に実践することができる調理方法のポイントを実演紹介します。	定員:20人(先着順) 受講料:無料
	介護技術講座(座学) ～持ち上げない介護技術を学ぼう～	10月26日(月) 10:00～11:30		株式会社 あるく 今中 優介 寺田 剛	市民の皆様を対象とした家庭介護の講座です。今回のテーマは、介護者の身体負担の軽減だけではなく、介護を受けられる方の身体負担の軽減に着目した、より安心、安全な「持ち上げない介助方法」を座学で学びます。	定員:6人(先着順) 希望される方は、お問合せください 受講:100円(資料代) 受講当日に現金で申し受けます
【社会福祉史の市民講座】	大阪市における市民館の歴史と西成市民館	10月10日(土) 14:00～16:00	受講いただけない場合のみ連絡します。	社会福祉法人石井記念愛染園 西成市民館 館長 河崎 洋充	大正10年(1921年)、日本で最初の公立セツルメント(隣保館)である北市民館(初代館長 志賀志那人)が設立されました。大阪市における市民館の歴史や、地域に求められる西成市民館の役割や取り組みなどについて学びます。	定員:24人(先着順) 受講料:無料

■ 市民向け講座の申込み方法 ▼

ハガキ・FAX・メールに次の必要事項を記入して、お申し込みください(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます)
 [必要事項] ①講座名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名と所在地
 介護実習講座を申込みの方は⑦介護経験の有無(有の人は年数も記入)※介護職の方はお申込みいただけません。

● 福祉従事者向け研修

申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

研修名		日 時	受講対象者	講 師	内 容	その他
【組織運営管理研修】	プレゼンテーション研修 (オンライン)	12月1日(火)・ 15日(火) 10:00～16:30	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務し、パワーポイントソフトを使用したことがあり、2日間とも参加できる方、カメラ付きのPCで参加できる方、インターネットの接続環境が安定していること(有線接続、wifi)	京都光華女子短期大学 教授 森際 考司	パワーポイントソフトを使った資料作成のコツも学べます。学んだ技術を使って実際に発表を行いフィードバックを受ける演習を通してプレゼンテーションの基礎を実践的に覚えることができます。今年度はオンラインでのプレゼンのコツも取り入れていきます。	定員:20名 締切:11月6日(金) 午後5時まで 受講料:6,000円
【障がい福祉関係研修】	GOKAN療育プログラム (平成30年度・令和元年度と同内容で実施)	10月29日(木) 14:00～16:00	大阪市内の障がい児通所支援事業(児童発達支援・放課後デイサービスなど)に勤務する職員	一般社団法人 HI FIVE 代表 療育セラピスト GOKAN療育プログラム 考案者 畠山 織恵	『五感』への刺激を通して子どもの潜在能力を引き出す体験型療育[GOKAN療育プログラム]を学び、支援施設でのグループ活動を介し、脳の発達を促進すると同時に、「一人ひとりの子どもに沿った意思の表出を促すこと」ができる質の高い療育を提供できる支援スキルや施設環境づくりを身につけることを目指します。	定員:36人 締切:10月15日(木) 午後5時必着 受講料:1,500円
【リスクマネジメント研修】	リスクマネジメントの 基本理解と福祉職員 としての心構え	11月30日(月) 10:00～16:30	大阪市内の福祉関係施設・事業所に勤務する一般職員	兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人	リスクマネジメントとは何かを学び、リスクを生みださない考え方や記録の書き方、コンプライアンス(法令遵守)など具体的に気をつける点について学びます。	定員:36人 締切:10月30日(金) 午後5時必着 受講料:3,000円

※日程及び締め切りは、主催者の都合で変更する場合があります。

● 福祉従事者向け研修の申込み方法 ▶ 当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

上記の会場・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

🌐<https://www.wel-osaka.jp>

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

図書・資料閲覧室からのお知らせ

図書・DVD新着情報

図書紹介

「よくわかる こころの病気に効く漢方薬」

根本 幸夫 ほか 著 主婦の友社
2020年

うつ、引きこもり、夜尿症、発達障害、摂食障害、不安症、不眠症、認知症まで、こころの病気に効果を発揮する漢方薬が丸わかり。漢方薬がなぜ効くのか、どのように効くかが手にとるようにわかる。



「保険者のチェックポイントがわかる！ ケアプラン点検ハンドブック」

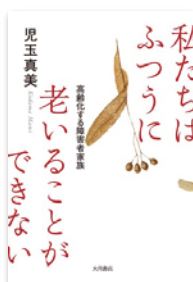
後藤 佳苗 編著 ぎょうせい 2020年
自治体職員・ケアマネジャーの声を基に、ケアプランの点検・作成について具体例をあげて解説。ケアマネジャーにとっては、どのようなポイントで点検されるのかわかるので、ケアプラン作成の際に気を付けるべきポイントがわかる。



「私たちはふつうに老いることができない 高齢化する障害者家族」

児玉 真美 著 大月書店 2020年

いま障害者の親たちは老いによる心身の衰えを実感し、我が子の生活を支えることに限界を感じ始め、すでに自身が病んだり要介護状態になりながら支えているケースも多い。親たちの聞き取りをもとに実情と支援のあり方を考える。



「イラストで見る潤脳チャレンジ 認知症実践介護 援助職のための 脳が潤う高齢者ケア」

桑田 直弥 著 福村出版 2020年

読み・書き・計算を含む認知トレーニング活動の一環として考案された。毎日の生活の中に取り入れることで、認知機能の改善が期待できる潤脳チャレンジを使った、介護施設での高齢者ケアの実践を紹介。



DVD紹介

「もうろうをいきる」

ジグロ 91分 2017年

目が見えなくて耳が聞こえない人のことを、『もうろう者』という。もうろうの人たちは、指で触れあうことで世界とつながっている。地域で支えあいながら生活しているもうろう者と周囲の人たちとの関係性を紹介。



「ギフト 僕がきみに残せるもの」

トランスフォーマー 111分 2018年

アメリカン・フットボールのヒーローのステイヴは、病院でALS(筋萎縮性側索硬化症)だと宣告を受ける。その同じ頃、妻の妊娠がわかった。自分は生きている間に、子のために何が残せるのだろうか。彼はまだ見ぬ子に贈るために、毎日ビデオダイアリーを撮り続けた。



「認知症セミナー」

認知症ラボ 2015年

一般的な加齢現象とは別に、認知症のように高齢期に特異的に増加する疾患もある。医学的な知識は、認知症などをかかえる高齢者のケアを行う人にとっては不可欠。認知症の介護・医療に携わる専門職の方はもちろん、介護をされているご家族や、認知症について関心のある方はぜひご覧ください。



「老化と認知症」 190分

- ・精神機能の老化現象
- ・認知症の理解と対応

「認知症のケアと原因疾患」 187分

- ・認知症への対応
- ・認知症を引き起こす病気



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています（認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。）



●図書・約18,000冊 ●DVD・約940本 ●雑誌・約27種類

開室時間／月曜日～土曜日（祝日、年末年始は除く）午前9時30分～午後5時

貸出期間／2週間（図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで）

利用資格／貸出し期間（2週間）内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類（免許証・保険証など）をご持参ください

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります



健康と思う今こそ、受けよう検診！

大阪市民の死亡原因第1位は「がん」です。がんは2人に1人になる病気、定期的にがん検診を受けましょう。

▼大阪市では次のがん検診を実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度※1
胃がん検診 (50歳以上の方はどちらか選択してください)	胃部エックス線検査	保健福祉センター	500円	受診日現在40歳以上的大阪市民(年度中1回)
	胃内視鏡検査	取扱医療機関	1,500円	受診日現在50歳以上的大阪市民(2年に1回)
大腸がん検診	免疫便潜血検査	保健福祉センター 取扱医療機関	300円	受診日現在40歳以上的大阪市民(年度中1回)
肺がん検診	胸部エックス線検査 (ハイスろ者には喀痰細胞診検査も併せて実施)	保健福祉センター 取扱医療機関	無料 (喀痰細胞診検査:400円)	受診日現在20歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年に1回)※2
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査	取扱医療機関	400円	受診日現在30歳代の女性市民(年度中1回)
乳がん検診	超音波検査	取扱医療機関 (視触診あり)	1,000円	受診日現在40歳以上で前年度に受診されていない女性市民(2年に1回)※2
	マンモグラフィ検査	保健福祉センター (視触診なし) 取扱医療機関 (視触診の有無は医療機関により異なる)	1,500円	

〈お問い合わせ〉大阪市健康局健康推進部健康づくり課 ☎06-6208-9943

▼がん検診以外の検査も実施しています。

検診種別	検査方法	実施場所	料 金	対象者・受診頻度※1
B・C型肝炎ウイルス検査	血液検査	取扱医療機関	無料	20歳以上の市民で、過去に肝炎ウイルス検査(大阪府が実施するものに限らない)を受けたことがない方。また大阪府肝炎フォローアップ事業に同意する方
骨粗しょう症検診	踵骨超音波測定法	保健福祉センター	無料	18歳以上的大阪市民
歯周病検診	問診・口腔内診査	取扱歯科医療機関	500円	40・45・50・55・60・65・70歳の大阪市民※3

※1 いずれの検診も、勤務先等で同程度の検診を受診できる方、検診部位の病気等で治療中・経過観察中の方、自覚症状のある方、同一年度中に会社や病院、他の自治体で同等の検診を受診した方(胃内視鏡検査は前年度に他の自治体で胃内視鏡検査を受診済みの方を含む)は対象外です。また、無料受診の該当者等については、大阪市ホームページ等でご確認ください。

※2 令和2年度は受診対象の目安として、生まれ年が大正・昭和で奇数年、平成は偶数年の方を対象としています。

※3 令和2年度は昭和25年、30年、35年、40年、45年、50年、55年生まれの大阪市民の方

〈お問い合わせ〉大阪市保健所感染症対策課(肝炎ウイルス検査) ☎06-6647-0656

大阪市健康局健康推進部健康づくり課(骨粗しょう症検診・歯周病検診) ☎06-6208-9943

▼大阪市国民健康保険加入者へは生活習慣病の健診も実施しています。

特定健診	実施場所	料 金	対象者
	保健福祉センター等	無料 (要受診券)	大阪市国民健康保険に加入されている40歳以上74歳までの方(来年度の3月31日までに40歳になる方を含みます)
	取扱医療機関		

〈お問い合わせ〉大阪市福祉局生活福祉部保険年金課 ☎06-6208-9876

今月の自助具 折りたたみリーチャー

主な適応疾患・対象者▶

- 先天性短小、上肢麻痺などで手を伸ばすのが難しく、物を押ししたり、引っ掛けたり、引っ張ったりすることが困難な方。

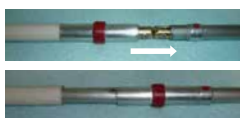
機能・特徴▶

- 折りたたみができコンパクトに携帯可能。(伸長時:48cm、折りたたみ時:28cm)
- 強い力の引っ張り、押し込みが可能。(各部品を高強度に設計、重さ128g)
- (市販品には、重い物を押すと、縮む伸縮式リーチャーがある)
- 伸縮の動作が簡単。

使い方▶

- ① ひろげて真っすぐ伸ばし、中間にあるスライドパイプを移動して固定する。

- ② 先端部でスイッチボタンを押したり、物を引き寄せたりして使う。



資料提供・問合せ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492(月・水・金 10:00～15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



健康生活 応援グッズ

ベッドタイムを心地よく

背上げ姿勢を追求した新機構とアプリと連携するICTなどを搭載



●楽匠プラス

もっと身体にやさしく、もっと次の動作につながる。背あげをさらに進化させるために生まれた プラスライン ボトム。手元スイッチで、ご家族のスマートフォンに通知できる家庭内呼び出し機能を搭載。

高さへの不安を無くす
超低床15cm



●ラフィオ

自然なリクライニング姿勢により床ずれ・誤嚥リスクを低減。ベッドの高さに不安がある方にも安心の超低床ベッド。

昼は高く、夜は低く
超低床フロアーベッド



●超低床フロアーベッド

介護する方と介護される方、両方の負担を軽減する安心・安全なベッドです。高さ61cm～11cmまで調節可能なので、様々な状況に合わせて使えます。就寝時の転落の心配がありません。

問合せ

公益社団法人

関西シルバーサービス協会 事務局

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 ☎06-6762-7894

http://kansil.jp

URテナントは 「子育て・高齢者支援事業」を応援しています!

UR都市機構では、団地内施設を活用し、
子育て世帯から高齢者の方々が健康的で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。



子育て支援事業者への賃貸料優遇制度
賃貸料最大50%OFF



高齢者支援事業者への賃貸料優遇制度
賃貸料最大20%OFF

公共性・社会性の高い子育て支援・高齢者支援事業者の方々には、一般商業施設の賃貸料に対しての減額を実施しています。
※申込後の審査により、賃貸料が割引になる事業かどうか判断させていただいております。※既存店舗との競合業種は、団地によっては受付できない場合があります。



権利金・礼金・手数料不要
初期費用が安い!

¥0

開店までの準備期間も安心
工事前の賃貸料無料



面倒な手続きいらず
保証人不要!



街に、ルネサンス

 UR 都市機構

独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 住宅経営部 経営課
〒536-8550 大阪市城東区森之宮1-6-85 TEL.06-6969-9044

詳しい内容や資料請求は
こちらから▶

URテナント 関西

検索

(広告)

カタチ にする フ。ロ

パンフレットやカタログなど、
作りたいものがカタチにならず困っていませんか?
当社なら企画から取材・撮影・デザイン・
印刷・納品にいたるまで、各専門スタッフが、
お客様のイメージをトータルでカタチにします。

※詳しくは下記までご連絡ください。

TOTAL CREATION

AD.EMON

株式会社 アド・エモン

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-23 丸丹ビル306号
TEL: (06) 6358-1010 FAX: (06) 6358-1011 E-mail: info@ad-emon.com
<http://www.ad-emon.com>

(広告)



アトリエ インカーブでは
知的・発達に障がいのあるアーティストが
日々ゆったりと心の向くままに描き、
つづけています。

知的・発達障がいのある アーティスト 募集中!

※施設利用者さまのことを指します

生活介護事業所 アトリエ インカーブ

TEL 06-6707-0165
MAIL info@incurve.jp
社会福祉法人 素王会
547-0023 大阪市平野区瓜破南1-1-18

アーティスト募集
ウェブサイト>>

<http://incurve.jp/bosyu.html>

(広告)

CENTER INFORMATION

大阪市社会福祉研修・ 情報センターのご案内

開館時間／午前9時から午後9時まで(土・日曜日は午前9時から午後5時まで)
図書・資料閲覧室は午前9時30分から午後5時まで(月～土曜日)
休館日／国民の祝日(土・日曜日と重なる場合は除く)、年末年始(12月29日～翌1月3日)

項目	直通電話番号	お問合せ時間
会議室など利用の問合せ	06-4392-8200	午前9時～午後9時(土・日曜日は午後5時まで) (会議室の申込・お支払いは午前9時30分～午後5時)
研修関係の問合せ	06-4392-8201	午前9時～午後5時
図書・資料閲覧室の問合せ	06-4392-8233	午前9時～午後5時

貸室ご利用の皆様へ

1 空室状況をホームページに掲載しています。

空室状況は、ホームページの「貸室のご案内」→「空室一覧」に、PDFで6か月分掲載。

ウェルおおさか

2 利用申込の受付は6か月前からです。

利用日の6か月前(6か月前の同じ日)から、電話や窓口で予約いただいたうえ、所定の用紙で申し込みください。

受付時間は午前9時30分から午後5時まで

☎06-4392-8200

FAX06-4392-8206

※FAXでの申し込み可能な期間は、利用日の6か月前の午前9時30分から利用日の3日前までです。

※当分の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年6月1日～利用条件を変更しています。

詳しくは、ホームページの「貸室のご案内」「令和2年6月1日からの変更点」をご覧ください。

■会議室等の使用料

利用できる貸室および料金は、次のとおりです。ご予約は利用日の6か月前からです。

(単位:円)

室区分	利用人員のめやす	時間区分	午前	午後	夜間	全日
			9:30～12:30	13:00～17:00	18:00～21:00	9:30～21:00
4階	会議室	24	3,800	5,100	3,800	11,400
	会議室 東	7	1,900	2,600	1,900	5,800
	会議室 西	12	2,900	3,800	2,900	8,600
	介護実習室	6	5,700	7,600	5,700	17,100
	演習室	6	1,000	1,300	1,000	3,000
5階	大会議室	36	5,800	7,700	5,800	17,400

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために利用人員のめやすに制限をかけていますので、令和2年7月15日からの利用につきましては、減免申請をしていただくことにより、上記会議室等の使用料の5割を減免します。

交通／ご来所には**【大阪シティバス】【JR】【地下鉄】**をご利用ください

大阪シティバス

「長橋二丁目」バス停すぐ
52系統(なんば～あべの橋)

JR大阪環状線・大和路線

「今宮」駅から徒歩約10分

地下鉄・四つ橋線・御堂筋線

「花園町」駅(①・②出口)から徒歩約15分

「大国町」駅(⑤出口)から徒歩約15分

所在地／〒557-0024 大阪市西成区出城2丁目5番20号

設置主体／大阪市

運営主体／(指定管理者)
社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

電話／☎06-4392-8200(代表)

ファックス／FAX06-4392-8206

URL／<https://www.wel-osaka.jp>

Facebookもチェック



「ウェルおおさか」に広告を掲載しませんか

詳しくはお問合せください…▶大阪市社会福祉研修・情報センター
☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272 ✉kensyu@shakyo-osaka.jp

人権啓発キャッチコピー

【テーマ】いじめ問題

見た人した人された人 つらくなるのがいじめだよ

吉野 友菜さん(令和元年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 小学校(低学年)の部 大阪市長賞)